

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 横浜市立神橋小学校

① 学習指導案

プログラム	No.5 「地域カルタをつくろう」
単元名 (全 時間)	「魅力いっぱい！かみはしカルタでまちのよさを伝えよう」 全26時間
学習のねらい	神橋の住む町や人を景観の視点で捉え、魅力を伝えるために、計画を立てたり発表内容を考えることを通して、自分たちの町の魅力に気付くことができる。
学習内容	1 景観の視点を基に、まちを見つめ直す。まちの景観調査の計画を立てる。 2 まち調査を行う。(情報収集・取材・デッサン) 3 まち調査からわかったことを基にカルタの読み札を考える。 4 在校生や関わってくださった方とともにカルタを行い、まちのよさについて再考する。これからのまちづくりについて考える。
参考資料 準備品 実施場所等	【準備品】 地図、デジタルカメラ、タブレット 見本となるカルタ(神奈川県民ジモトかるた または 鶴見わっくんカルタ) 【場所】 六角橋商店街、岸根公園、杉山神社などの学区域

学習の流れ




時間	学習活動	教師の指導	評価
1	景観の視点について知り、「まち調査」を実施した際に見つけた事象を「空間・感性・営み」に分ける。 まちの魅力を伝えたい相手や目的などについて話し合う。	「きら☆まち」動画やまち調査の際に撮影した動画を用いて、景観とは何か、どのような視点なのかを明確にする。 ポスターやカルタの形にまとめることを伝え、相手意識をもった活動となるようにする。	神橋のまちを景観の視点で見ることに興味をもっている。 相手意識をもち、活動への見通しをもっている。
2 3	住んでいる地域ごとのグループを作り、校区地図に感性シールを貼る。 各グループでの作業を共有す	同じ場所であっても一人一人の感じ方が違うことを認める。 なぜそう感じたかの理由を大切に して話すように指導する。	自分の感性を大切に にし、普段自分が

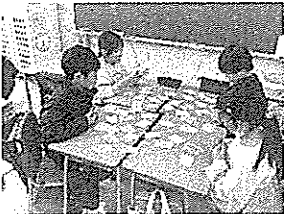
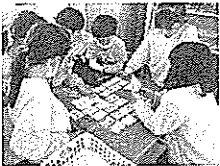
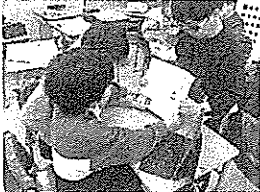

	る。		考えていることを伝え合う。
4 5	まちの景観調査の計画を立てる。	もっと知りたいことは何か、確かめたいことは何かを問い、調査の方面及び課題を明確にする。 インタビューの仕方の確認をする。	自分の課題を見つけ、進んで調査活動をしようとしている。
6 7 8 9 10 11 12	まちの景観調査 ・まちに出てすてきなところを探す。 ・場所ごとのグループごとに調査を行う。	調査した内容をワークシート等に記録し、保管するようにする。学習の途中で振り返ることができるようになる。	「感性」の視点で気づきを表現している。
13 14 15 16 17 18 19	分かったことを整理する。 見本のカルタで遊び、読み札や取り札の特徴を確かめる。 集めた情報を基に、読み札や取り札を考える。 互いに交流し、よりよい言葉を選ぶ。 作ったカルタで試しに遊んでみる。	七五調のリズムを用いてまとめるように指導する。 魅力がより伝わる言葉を選ぶよう、国語辞典などを用いてよいことを伝える。 カードの作成手順、道具の取扱いの指導する。 カルタで遊んだあとに、気づいたまちの魅力について話すように声をかける。	場所や人の魅力が伝わるように言葉を選んでいる。 まちの魅力が相手に伝わることを意識して取り組んでいる。
21 22	ペア学年や保護者、お世話になった方々を招いて一緒にカルタをする計画を立てる。 ・招待状やルールの作成	今までの感謝の気持ちや一緒に楽しみたい旨が文章で表現できるようにする。	

23	これからの「神橋」のまちのために、自分たちができるところを考える。	学習を通して学んだことを確かめる。	まちの中の自分の存在に気づき、地域の方と関わりながら生活する大切さについて考える。
24			
25			

② 事業実施報告書詳細

学校名 横浜市立神橋小学校

時間数	場所	概要	活動記録(写真)	対象者の反応
1 2 3 4 5	教室	「総合」とは何か？ 「景観」とは何か？ 学習問題を作る 「かみはしの町カルタを作ろう」 まち調査の計画を立てる		「総合の学習って、どんなことするのかかな？」 「社会科でもまち調査をしたけれど、<景観>で考えると違う見方ができるかな？」
6 7 8	校外 教室	「六角橋商店街を景観の視点でまち調査しよう」		「こんな店あるなんて知らなかったな。」
9 10	教室	・デジタルカメラを使って写真に記録する。 カルタを作るための話し合いをする。		「この店は知っているよ。景観の視点でとらえるとどんな感じがするかな？」
11 12	教室	・カルタの大きさを決める ・グループに分かれて、読み札と絵札の担当を決める		「誰がどの場所にするのか決めよう！」
13 14		神橋のまちカルタ第1弾の作成をすすめる。		

		・景観の視点を取り入れて、神橋のまちの人・物・場所をテーマに読み札と絵札を作成する。		
15 16 17 18	教室	自分たちで作ったカルタで試みに遊ぶ 遊んでみて、よりよくできるところがないか話し合う。改良点を見付ける。		「絵が素敵！でも読み札が読みにくいところもあるね。」 「もっとよくなるところはどこかな？」
19 20		町調査に行き、インタビュー活動や調査活動を通して景観の視点で材を見付ける・デジタルカメラで写真に記録する。		
21 22	教室	第2弾の神橋カルタ作り 改良点をもとに、第2弾の神橋まちカルタを作り、カルタをアップデートさせよう		「1年生が読みやすいように、漢字をひらがなになおそう。」 「もっと景観の視点を入れたらよくなるかな？」
23 24 25 26	教室 図書室	まちカルタでまちの魅力を伝える ・保護者との交流 ・下学年と交流する ・発表するための原稿を考える。 ・地元の大学生のまちジオラマの観覧を通して交流する。	 	
27		1年間のまとめ		

③ 実施内容について

<p>(1) 実施にあたり工夫した点</p> <p>景観の視点とは何かをその都度確認し、読み札に生かすようにした。タブレット端末やデジタルカメラを用いて、写真の記録や調査内容を見返し、話し合い活動を繰り返し行ったりすることで、見つけた店や人、物をどのように捉えているかを考えさせることができた。</p>
<p>(2) 実施にあたり苦勞した点</p> <p>景観の視点が理解しにくい子どももいて、どのようなキーワードであれば、読み札に生かせるかを考えた。</p>
<p>(3) 児童の反応</p> <p>自分たちの慣れ親しみ、住んでいるまちの、魅力を伝えたり景観の視点で調査をしたりすることで、今まで知らなかったことや気付かなかった発見があった。今後、自分でもっとまちを歩いて知らなかったところに足を運びたいと考える子が増えた。</p>
<p>(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化</p> <p>「景観」というキーワードをどのように意図的に取り入れるかが難しかったが、一つの場所でも見方が変わり、複数の魅力を見つけることができた。</p>
<p>(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕</p> <p>「景観」の視点を子どもに分かりやすい言葉で落とし込むためには、どのような工夫が考えられるかを、今後につなげていきたい。</p>